

©ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「たくさんの入り口」

知り合いのお子さんが、公園で遊んでいて石を投げたら、たまにたま停まっていた車に当たってしまったって困っているという話を聞きました。本人は、故意にぶつけたわけではないのですが、ほんの少しドアに凹みができてしまったそうです。修理をする必要があるのですが、このようなケースで保険というのは使えないのか、という話が出て早速調べてみました。

GOOGLEでそのまま「子どもが石を投げて車にぶつかった」と検索窓に入力して検索。世間ではそのようなことはよくあるようで、いろいろな検索結果が表示されました。生命保険や火災保険の特約、共済などでそのような保障があることがわかりました。中でも、あるホームページにあったQ&A型の内容は非常に役立ちました。

GOOGLEは、このように「こういうことを調べたい」と入力すると、「その問いの答えはこのページだよ」と回答してくれる便利なものです。しかもGOOGLEは日々進化していますから、ユーザーの質問に対してかなりの精度で「これがベストなページだよ」と、提示できるようになっています。そう考えると、自社のホームページ内になるべく多くの正確な情報を掲載していれば、「ベストなページ」に選ばれる可能性が高くなるということになります。

検索順位を上げるために、トップページに重点を置いてしまいがちですが、トップページはその会社の大きな内容を広く伝える玄関の役割をしているので、文章を長々と連ねることはしません。しかし、下層ページならいろいろな情報をスペースにとらわれることなく掲載することができます。それが、ユーザーに役立つ情報で正確なものであれば、GOOGLEの評価は上がります。

既述のとおり、GOOGLEではキメ細かい検索が可能になりました。「子どもが石を投げて車にぶつかった」といったようなもので検索しても、それに近い検索結果が表示されていることでわかります。このように、トップページ以外でも個々のページが十分に集客の入り口としての役割を果たすことができるようになってきているといえるのではないのでしょうか。

クローラ(Webサイトを巡回して情報を読みとらせるプログラム)は、そこに掲載している文章を読み取りサーバに蓄積、検索キーワードにマッチした「質の高いコンテンツをもつページ」から順に表示させているそうです。問題は、この「質の高いコンテンツ」を作っていくことです。多くの人は、面倒なことはやりたくないものです。他の会社が、あまりやっていないことをスタートし、継続できれば自然と差がついてきます。当社のお客様で、日々の作業実績などを掲載してホームページを更新、常に新しい情報を掲載している方がいらつしやいます。数か月であつという間に結構な量のページ数となりました。ようやく、そこが新しい入り口となって結果につながったというお話も伺っています。すぐに結果がでなくても、そのようなページは必ず自社の財産になっていくと思います。店舗の入り口は一つですが、ホームページの入り口はたくさん作ることができます。

さて、さきほどの話ですが取引のある保険代理店さんにも聞いてみましたが非常に親身になって相談ののってくれました。今回の話とはそれですが「直接プロに聞ける」というのは何よりも安心感が違いますね。

ご案内

低コストで高機能な
簡単更新プログラム

簡単更新くん

簡単更新くんは用途に合わせて、御社のご要望にあわせてシンプルに作成します。だから、使わない機能は当初からありません。誰でも迷わず更新できます。

この件に関する問い合わせ
ラップ東京株式会社
TEL:042-349-3535
(担当：田島)

※ラップニュース バックナンバーはホームページからご覧いただけます。
※アンケートがありますのでよろしかったら、ご意見をお聞かせください。